

ともえ 2040

発行：みよし学園コミュニティ・スクール
(事務局：市立三次中学校)

令和5年4月1日
No. 37

生活科と総合的な学習の時間で育む力

＝「地域資源の活用と協働」による思考力と表現力の育成＝
～「グッドタウン三次」学習を通して～

目標：三次をすてきなまちにする。そのために自分たちのできることを考える。

三次中学校区では、小学校で生活科と総合的な学習の時間を中心に郷土学習を重ね、中学校では、三次の良いところや誇れるものを生かし、まちの魅力発信を通して地域に貢献する生き方について考えさせ、小中学校を通して「まちガイド育成プログラム」に取り組んでいます。

今回は、この春卒業する三次中学校の3年生が、三次のまちづくりや活性化に取り組む人々の思いや願いを理解しようと、フィールドワークなどで情報収集してきたことをまとめ、次に紹介する「ガイドブック」を作成しました。

	主な学習課題
小1	三次の四季を楽しもう
小2	そだてよう自分の野菜
小3	ふるさとはっけん三次探検隊
小4	ふるさとはっけん
小5	つながる 三次！ ～ボランティアをしよう～
小6	つながる 三次！ ～伝統文化を考えよう～
中1	グッドタウン三次
中2	まちづくり提言
中3	みよしまちガイド

【まちガイド育成プログラム】

三次の魅力の発信

中学生が三次の魅力を紹介する「ガイドブック」を作成しました 三次中学校

三次中学校では、3年生が校区の歴史・文化や自然など、多くの地域の魅力について、テーマを設定して、調査研究してまとめる取組をしています。

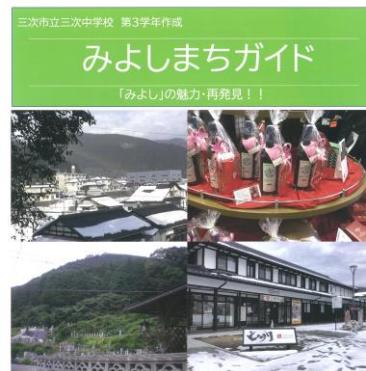
今春の卒業生は、①もののけミュージアム、②イベント・祭り、③川・防災、④山・自然、⑤観光スポット、⑥三次ワイナリースポットの6つのテーマを設定し、それぞれの魅力を中学生の視点からまとめて紹介するガイドブックを作りました。

ガイドブックは、紹介している場所に行かなくても、スマートフォンやタブレットなどを通して、魅力が伝わる写真を見ることができたり、生徒の声で説明を聞いたりすることができます。

もののけミュージアムなどの市内・市外の観光スポットなどにガイドブックを置かせていただき、たくさんの人にこの三次の魅力を知らせてもらいたいと考えています。

三次ふれあい会館や河内コミュニティーセンターにもガイドブックを置かせていただいています。地元の皆様には、是非、中学生が作ったガイドブックを手にとっていただき、どのようなものか見ていただき、ご意見やご感想をいただければ幸いです。

今年度も地域の方々から新たな魅力を学び、小中学生がまとめたものを発信していきたいと考えています。引き続き、ご協力をお願いします。



第5回三次中学校区運営協議会(2/28)を終えて

(みよし学園コミュニティ・スクール)

令和5年2月28日(火)に、見出しの協議会が三次ふれあい会館で行われました。

1 みよし教育フェスタ(1/29)「コミュニティ・スクールの実践について」発表報告

三次ケーブルビジョンの協力を受け、これまで中学校区で行ってきた様々な地域との協働活動を、動画により、子どもたちの実際の姿を通して発表することが出来た。日常の児童・生徒・地域の皆さんが自らの関わりが、他の喜びの源になっている様子をよくわかっていたと思う。

2 各学校評価に係る年度末のまとめ(概略)

・三次中学校

3つの資質・能力や非認知能力と言われる「成功体験と自信」「他者評価」「発信力」については、全国平均を上回っており、学年が進むにつれてその傾向は顕著になっている。これは、地域との継続的な関わりの実現や本物の社会との出会いによる学習とのつながり、そして励ましていただける評価者が増えたことによる自己効力感の向上によるものと考えられる。

・三次小学校

3つの資質・能力である「主体性」「協調性」「コミュニケーション能力」は児童アンケート項目においても肯定的に答えた児童の割合が70%以上であった。特に「協調性」は前期に比べ後期が高くなり、学校行事や学習場面で友達と一緒に取り組む中で、相手の事を考え、協力しながら行動できたと感じている児童が増えた。様々な地域の方の協力で豊かな経験や学習活動ができ、自己肯定感や地域への愛着を実感することができた。

・河内小学校

自己肯定感については、挑戦できる機会をつくる、作品応募に力を入れるなどを行うことを通して、苦手なことにも挑戦しようとする児童が増え、向上が見られた。大きな場で、自分を出すことができない課題があるため、表現の場を意図的に設定し、自信を得させることを積み上げるように引き続き取組を進める。

今年度より、少しずつ地域との協働活動が行えるようになり、児童は、がんばる姿を地域の方に認めていただく機会が増え、多くの“輝く姿”を見ることができた。

3 その他 各委員より

- ・子供たちが、地域の中で育っているという実感を持たせることを通して、成功体験と自信を持たせたい。
- ・互いの目指す想いを学校、保護者、地域でもっと熟議してより良いものにしていきたい。
- ・来年度の活動計画を内容と時期が分かりやすいもので共有できれば、みんなで色々知恵を出し合い、さらなる深化が図れる。
- ・この運営協議会に子供の姿(子供の生の声)がもっと見えるようにしてほしい。そして、それが反映できるよう、子供からの発信の取組も大切にして、評価・改善していきたい。
- ・親同士のつながりも弱体化してきている。保護者を巻き込み、保護者同士のコミュニティづくりの役割を、このコミュニティ・スクールが担うこともできるのではないか。
- ・三次中学校区の強みは、非認知能力の向上であり、学年が上がるにつれて着実に伸びている。このコミュニティ・スクールの活動も、協働から協創へと進化しつつある。



「ともえ 2040」へのご意見やご感想、子育てやまちづくりに関するご意見等を自由にお寄せください。

【問い合わせ・意見送付先】市立三次中学校

TEL 0824-62-2896

FAX 0824-62-2899

E-mail miyoshi-j@school.miyoshi.hiroshima.jp